

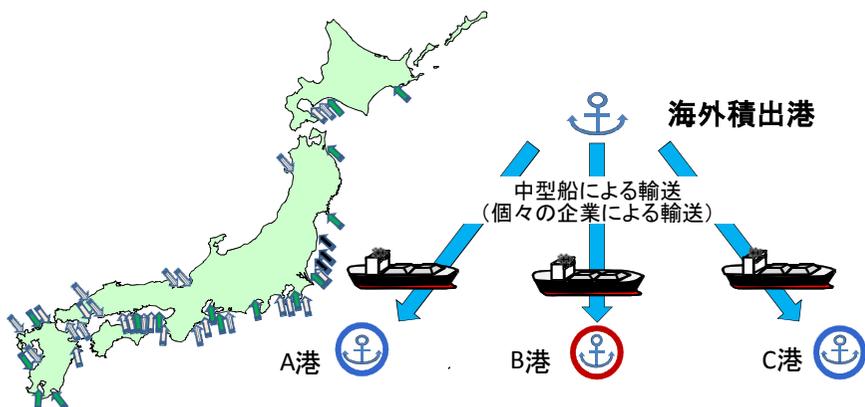
## 課題

○我が国は、資源・エネルギー等のほぼ100%を輸入に依存。近年、近隣国の輸入量急増により、資源獲得競争が激化。  
○ばら積み貨物船の大型化が世界的に進展している中、我が国では大型船に対応できる港湾は限定的。

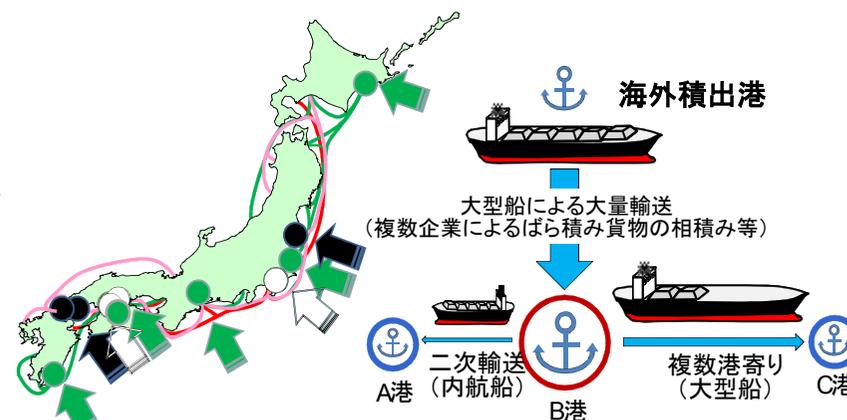
## 対応

### 企業間連携による大型船を活用した効率的な海上輸送網の形成を推進

これまで



これから



#### 国際バルク戦略港湾

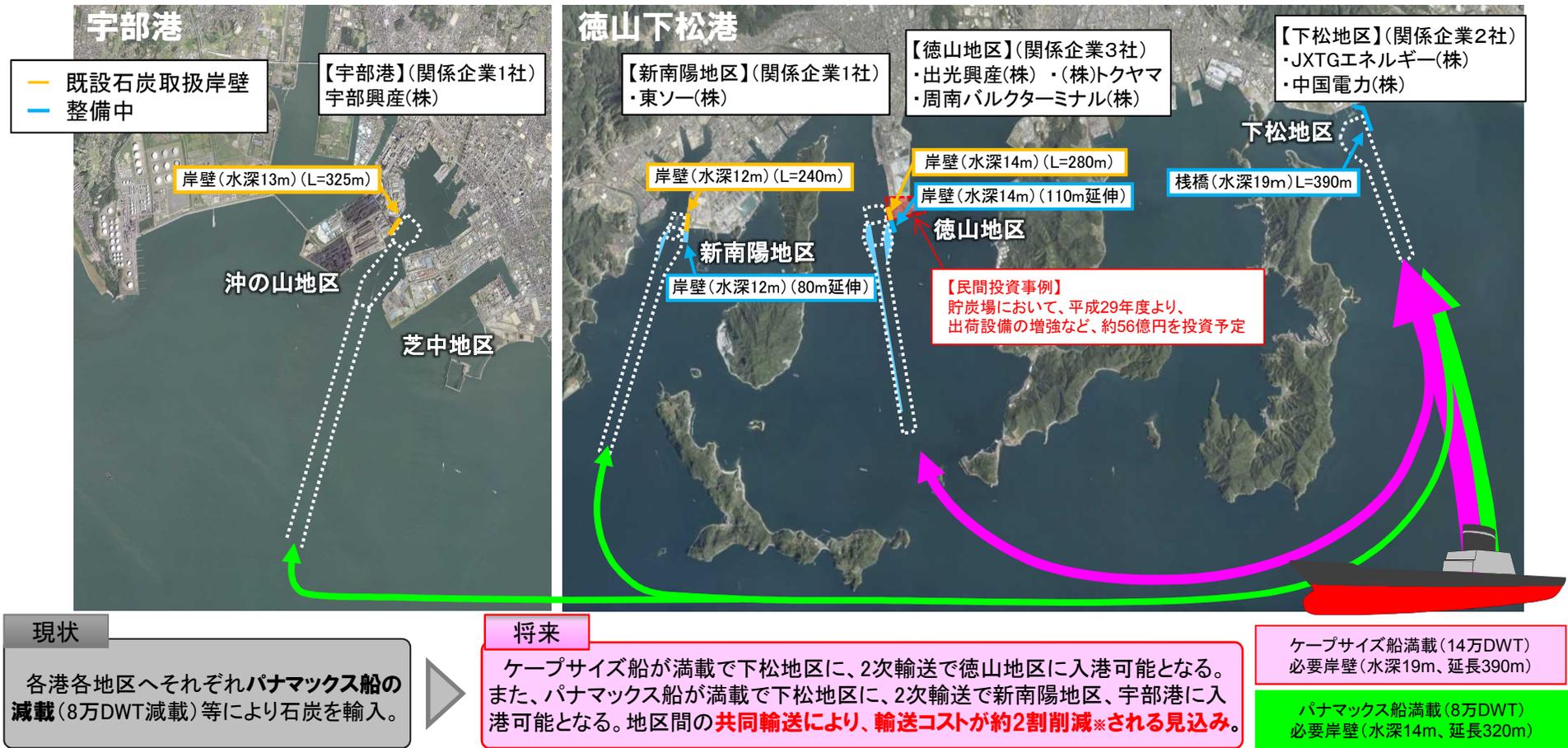
- 穀物: 釧路港、鹿島港、名古屋港、水島港、志布志港
- 鉄鉱石: 木更津港、水島港・福山港
- 石炭: 小名浜港、徳山下松港・宇部港

#### 【具体的な取組の例】

- 資源・エネルギー等の輸入拠点となる港湾において大型船が入港できる岸壁等の整備
- 企業間連携による大型船での共同輸送の促進
  - 荷さばき施設等の整備に対する補助、税制特例措置 等

# 徳山下松港・宇部港の取組み状況（進展・効果）

- 効率的な石炭輸送ネットワークを形成するため、平成23年5月に徳山下松港・宇部港を国際バルク戦略港湾に選定。
- 平成28年度より港湾整備事業着手（完成予定平成31年度、総事業費302億円）。平成28年度には、土質調査、設計を実施。平成29年度より現地着工。
- 公共投資に併せ、民間の貯炭場等の投資が進展。
- 民間事業者による一体的な埠頭運営実現のため、平成29年9月に山口県及び関係企業7社により「やまぐち港湾運営株式会社」を設立。これを受けて、平成29年12月25日に山口県が同社を港湾運営会社へ指定。
- 石炭の輸入拠点としての機能や効率的な運営体制が整ったことから、国土交通大臣が港湾法に基づき、徳山下松港を特定貨物輸入拠点港湾として指定する。



※国土交通省港湾局試算

## 特定貨物輸入拠点港湾の指定

ばら積み貨物の海上運送の共同化を進め、輸入拠点としての機能を高めるべき港湾として国土交通大臣が指定。

## 特定利用推進計画の作成

港湾管理者が中心となり、ばら積み貨物の輸送の効率化のために取り組むソフト・ハードの計画を作成。

計画作成・実施の協議

特定貨物輸入拠点港湾利用推進協議会  
(港湾管理者、民間企業等で構成)

## 特定利用推進計画を推進するための措置

港湾区域、臨港地区内での工事に係る手続等に係る特例

荷さばき等の共同化を促進するための施設の整備・管理に関する協定(共同化促進施設協定)に係る特例(承継効)

## 特定貨物輸入拠点港湾の指定の要件

- ・輸入ばら積み貨物の取扱量が相当程度見込まれること
- ・港湾計画に水深14mを超える係留施設が定められていること
- ・埠頭が同一の民間事業者により一体的に運営されること
- ・港湾管理者や企業間の連携が確保されていること 等

## 特定利用推進計画とは

特定貨物輸入拠点港湾の港湾管理者が、輸入ばら積み貨物の海上運送の共同化の促進に資する当該港湾の効果的な利用の促進を図るために作成する計画。

## 共同化促進施設協定とは

荷さばき等の共同化を促進するために必要な港湾施設の所有者等が、その全員の合意により、当該施設の整備又は管理に関して締結する協定。

## 特定利用推進計画を推進するための措置 (イメージ)

